

青森県選挙管理委員会委員長より挨拶

青森県選挙管理委員会
委員長 畑 井 義 徳



皆さんこんにちは。青森県選挙管理委員会委員長の畑井と申します。
高校生模擬議会の開会に当たり、主催者を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げます。

本日は五所川原第一高等学校、県立大湊高等学校、県立八戸北高等学校の生徒の皆さん、先生方、ようこそお出でくださいました。昨年度の模擬議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催となりましたので、今回皆さんとこの会場でお会いできましたことを嬉しく思います。

この高校生模擬議会は、これから有権者となる高校生の皆さんに、政治や選挙への関心を高めていただくことを目的に、平成28年度から開催しており、今回で7回目となります。

本日の模擬議会では、実際の県議会同様、三橋議長、そして蛭沢副議長に議事進行をしていただきます。また、広報図書委員会に所属する県議会議員の皆様や県担当部局との質疑応答も予定しております。三橋議長をはじめ、県議会の関係者、並びに県の担当部局の方々には多大なる御協力をいただき、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

さて、高校生の皆さんは本日の模擬議会に向け、これまで青森県の活性化策を検討するグループワークをはじめとして、検討や話し合いを続けてこられたことと思いますが、この活動を通じて地元、青森県について、何か新しい発見があったのではないのでしょうか。地域や社会の問題を自らの問題として考え、行動していく主権者となることは非常に大切なことであり、グループワークや本日の模擬議会は皆さんにとって貴重な経験になるものと考えております。

皆さんには、今回の経験を活かしていただき、18歳になりましたら、進んで投票していただきたいと思っております。

最後に、各学校の皆さんのこれまでの検討や話し合いの成果が存分に発揮されることを御期待申し上げます。開会に当たってのあいさつとします。皆さん、本日はよろしく願いいたします。

青森県議会広報図書委員長より挨拶



青森県議会広報図書委員会
委員長 工藤 義春

皆さんこんにちは。青森県議会広報図書委員会委員長の工藤義春と申します。
高校生模擬議会の開会に当たり、青森県議会を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げます。

高校生の皆様、先生方には遠路、この高校生模擬議会に御参加いただきまして、大変ありがとうございます。
ございます。

本日の会場であります、この本会議場は、我々県議会議員が、実際に県当局と、県政の課題等について議論している場所であります。本日は議事の進行も、実際の県議会と同じようなかたちで進めますので、お出でいただいた皆様には、実際の県議会の雰囲気を感じ取っていただけるものと思っております。

さて、本日は、高校生の皆様から、青森県を活性化させるための提案について発表いただき、その提案に対して、私ども県議会議員から質問や意見を述べさせていただきます。

皆様が一生懸命検討してこられた提案を、我々県議会議員一同も大変楽しみにしてきたところであります。本日はどうぞよろしく願いいたします。

私ども、県議会広報図書委員会では、高校生模擬議会への参加のほか、県民に開かれた議会を実現するため、議会の広報・広聴などについて協議・調整を行っており、議会の活動内容を御理解いただくため、「あおもり県議会だより」を発行しております。

この県議会だよりは、各御家庭、高校にも配布されておりますので、皆様におかれましても、本日の模擬議会を切っ掛けに、ぜひ御覧いただき、県議会の活動に対して大きな関心を持っていただくことをお願いいたします。

最後に、皆様から、高校生ならではの視点による新鮮な提案が行われることを期待申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしく願いいたします。